令和８年11月15日執行
二宮町議会議員選挙　選挙公報
二宮町選挙管理委員会

住みつづけたい活力みなぎる街づくり

３期、12年間の実績を踏まえ、次のことを政策として掲げ、町民の皆さまのお声を町政に反映し、住みつづけたい活力みなぎる街づくりを推進するために全力疾走してまいります。



無所属

まえだ憲一郎

プロフィール

【主な略歴】
- S25.10.14　二宮町二宮337番地　元前田医院の長男として誕生
- S29.4　二宮めぐみ幼稚園入園
- S38.3　二宮町立二宮小学校卒業
- S41.3　二宮町立二宮中学校卒業
- S44.3　神奈川県立秦野高等学校卒業
- S48.3　日本体育大学体育学部卒業
- S48.4　神奈川県公立学校教諭に採用される
- H26.3　神奈川県公立学校教諭として41年間勤務
- H26.11　二宮町議会議員に初当選
- H30.11　二宮町議会議員に２期目当選
- R4.11　二宮町議会議員に３期目当選
- R6.12　二宮町議会議長

【二宮町内の主な役職】
- H14.4〜H16.3　梅澤昭和会会長
- H21.4〜 二宮町陸上競技協会会長
- H25.4〜R7.3　二宮町スポーツ協会理事
- H27.4〜 湘南二宮体操振興会会長
- R6.4〜 二宮町スポーツ推進委員

●二宮駅に西口を設置
- 活力みなぎる街づくりの一つとして、新たな町内の移動動線を生むためにも二宮駅に西口を設置していきたい。

●子育て支援・学校教育の充実
- 子と親の明るく楽しい子育て支援
- 町の将来を担う子どもたちに公立学校教員として41年間勤務した経験を土台に学校教育環境をより充実させる。

●高齢者・障がい者福祉の充実
- 地域包括ケアシステムの推進していく。
- 在宅介護・移動支援施策を推進していく。
- 地域の通いの場の支援・充実を図っていく。

●健康づくりの為にスポーツ行事を復活させる
- 幼児から高齢者までいつでもどこでも健康づくりのできる場づくり、環境づくりを推進していく。
- スポーツ行事を通じた地域間交流、人々の交流の場を増やし心身ともに健康づくりのできる場を再現していく。

●防災・防犯対策の促進
- 災害発生時の迅速かつ適切な避難体制を支援するための情報収集・提供体制の強化を図る。
- 防犯灯・反射鏡・防犯カメラの整備、増設。歩道の整備・バリアフリー化を推進していく。

子どもたちが戻ってくる
豊かな二宮へ！

国民民主党　こくみん
Democratic Party For the People



会社経営、そして二宮に移住して２人の娘を育てた苦労と経験を新しい町政の力に！


Ｕターンの促進


教育・子育て支援の拡充


人口増で豊かな地域社会を実現

①教育・子育て環境の充実で人口を増加
魅力的な教育内容と手厚い子育て支援策で、現役世代の新規移住と二宮出身者のＵターンを更に増やします！

②移動インフラ・防災力の強化で暮らしと命を守る
車が運転できなくても移動に不自由しない、地域巡回型ミニバスを検討。また、東大果樹園跡地を防災公園化し災害時に備えます！

③新庁舎費用 40 億円 →実質負担 20 億円を目指す
機能性を重視したコンパクトな庁舎とし、資材量減や他の施設・機能との合築で実質負担額を低減。当初予算に近づけます！

二宮を豊かにする「国策」の実現も目指します！
- ●里帰り減税 ⇒ 東京圏からのＵターン促進
- ●地方リモート勤務促進 ⇒ 遠隔勤務者支援
- ●企業・事業所の地方移転支援 ⇒ 誘致促進

プロフィール
- ●1968 年生まれ（58 歳）
- ●平塚江南高等学校 卒業
- ●日本大学 商学部経営学科 卒業
- ●妻の実家の二宮町（下町）に移住
- ●自動車関連企業 役員
- ●（一社）神奈川県ボディビル・フィットネス連盟 理事長



松浦（まつうら）まさひこ　国民民主党

参政党 sanseito　公認

二宮が好き。
〜優しくまっすぐ 松本ゆうこ〜



松本ゆうこ

二宮で暮らし、歳を重ねる。

二宮で暮らして55年目。26歳の時に長女を病気で亡くし、「人の役に立ちたい」と35歳で看護師に。20年、地域医療に携わる中、今年吾妻神社の銅板盗難が起き、町政への挑戦を決意しました。

現場の経験から紡ぐ、3つの約束

❶ 子どもを産み、育て、のびのび学べる二宮へ
産婦人科がない町内で、妊婦さんの通院交通費助成など、安心して通院できる仕組みを整えます。妊娠から教育まで切れ目なく支えます。

❷ 医療と介護をつなぎ、生涯安心して暮らせる町へ
地域包括ケア病棟での経験を活かし、病院から在宅へ安心して移れる相談・見守り体制を整えます。デマンド型交通など移動支援も進めます。

❸ 伝統と安全を守り、次世代へ誇れる二宮へ
祭りなど地域の文化を次世代へつなぎ、防犯・防災ネットワークを強化します。空き家活用や定住促進で、二宮に活力を生みます。

生活者として、母として、そして看護師として培った経験を町政に活かし、町民の皆様と一緒に、これからの二宮を創ってまいります。

松本 ゆうこ プロフィール　1972年、神奈川県二宮町生まれ。二宮町立二宮小学校、二宮中学校を経て、神奈川県立平塚商業高等学校卒業、美容部員として勤務後、32歳で看護学校（神奈川県立平塚看護専門学校）に入学、35歳で看護師免許取得／医療機関・介護施設等にて看護師として勤務、2026年 参政党に入党。

選挙ドットコム

松本 ゆうこ　検索



松﨑たけし　62歳

着工しない新庁舎。余りにも非合理的。

役場新庁舎計画を巡っては最初の関連議案上程から10年目を迎えても着工に至っていません。度重なる否決が計画を遅らせている原因ですが、過半数の議員の判断の結果です。私が一貫して反対の立場をとっている第一の理由は予定地がハザードエリア内であること。一昨年の台風10号による葛川溢水は記憶に新しいところですが、新たな懸念材料として財政の問題も深刻です。令和4年に町が示した基本設計において35億円とした建設費は令和8年度財政見通しにおいて、物価、人件費、金利上昇により40億円に変更するとしています。これにより令和11年度の公債費（借金返済額）は9億円を超えることが予想されたため、町は主要事業の計画を見直し、ラディアンリニューアル、駅前複合施設の福祉会館建設計画も無期限延長するとしています。世界情勢に鑑み、着工後も工事費増額による補正が繰り返されることは避けられないでしょう。

私事ですが令和4年に身内が大病を患い、議員2期目は介護とともにありました。車椅子を押していて感じた周囲の配慮は日本人の民度の高さを示すもので、外出先施設のバリアフリー設備完備と介護保険制度は福祉国家として世界に誇るものです。一方、課題も多く、身障者・高齢者の一人での外出を助けるセニアカー等各種ツールは歩道の段差や凹凸が普及を妨げています。また、高齢者の病院付き添いは不可欠ですが通院支援の仕組みは不十分です。

今年に入り当初15mとしていた予定地の支持層までの深さが場所により31mに達することが判明。地盤が想定以上に脆弱であることが明らかになりました。砂上の楼閣に多額の投資をするより老若男女分け隔てなく安心して暮らせる町づくりを実現してまいります。

学歴：一色小・二宮中・大磯高校・北海道大学農学部卒業(H1)
職歴：鐘紡㈱薬品研究所入社、その後外資系製薬メーカー等の研究・開発・調査部門に20年間勤務、(有)松﨑代表(H16〜)、保護司委嘱(H26〜)
趣味・資格：DIY、農作業、温泉旅行、空手、英検準一級
地域活動等：保護司、百合が丘子供みこし保存会会長、

公共施設計画を追う

▼10年を重ねてきた新庁舎計画。建設完成に向けてつなげます。

▼施設一体型小中一貫教育校設置は、「研究会の答申を得たまで」となっています。庁舎問題を安定させ、学校施設の検討も前向きな議論を始める時期です。

▼旧温水プールの活用が、町の活性化につながるよう、応援します。

福祉をいつも身近に

福祉本来の理念は全ての人が普段の暮らしをしあわせに送るための基盤を指します。特に関わってきたのは障がい者福祉と地域（コミュニティ）福祉と離れて暮らす親の介護。人の繋がりを大切にし、喜びと安心の暮らしを届けます。

議会の目的は まちづくり

政治は生活の延長です。議員個人の主張と同調が物別れではなく目的に向かうよう、14 分の１として誠心誠意尽力します。

根岸ゆき子 Profile
- 1966年３月八王子市生まれ。
- 国立音楽大学教育音楽学科第Ⅱ類卒業。
- 国立市ユリ・リトミック教室に就職。
- 1999年家族で二宮町に（今年町外に初孫誕生）
- 2002年町議会議員に初当選。
- ６期目は議長・議会運営委員長を務める。

＊娘の脳障害と夫のうつ病と闘う議員生活を経て笑顔を取り戻している。

つなぐ・繋（つな）がる



根岸（ねぎし）ゆき子　無所属

暮らしをまもり未来を育てる

子育て・学校
- ●『こども予算』を新設し、子どもたちによる政策提案を推進します。
- ●学びの多様化学校設置の可能性も含め、にのみや学園の在り方をみんなで考えます。
- ●学校体育館の空調整備やトイレの洋式化をすすめ、教育環境と避難所機能も高めます。
- ●入学前の子どもと保護者が学校で給食を食べたり授業に参加する事で学校への心理的ハードルを下げられる機会をつくります。

防災・減災
- ●『学校防災会議』を行い災害発生後の子どもたちの保護体制を強化します。
- ●『感震ブレーカー購入の補助制度』導入で通電火災リスクを町全体で減らします。
- ●県道71号線は災害時の緊急輸送路に指定されています。葛川の氾濫から住民の安全と交通機能を守るために国・県・JRへの働きかけを強化し、水位管理と適切な情報共有をすすめていきます。

地域交通・福祉
- ●『ふるさと応援タクシー券』を導入し外出サポートと地域の移動支援拡充に繋げます。
- ●中学校の部活動が拠点校式になって困っている生徒が多くいます。学校間の移動手段について様々な方法で解決を目指します。
- ●ひとり親家庭や多子・多胎児家庭の抱える負担に目を向け状況に応じた支援をすすめます。

環境・施設
- ●森林環境譲与税を活用し、民有地の森林管理に対する助成を行い倒木などの危険から町民を守ります。
- ●適切な里山整備で環境保全をすすめ鳥獣害から地域を守り、廃棄物の自然循環に取り組みます。
- ●町有地や公共施設は全体で考え、公共施設三原則に則した計画・管理運営を求めます

下町在住　東日本大震災や大阪北部地震をきっかけに 学校や地域の安全に興味を持ち 議会傍聴を8年間続け まちづくりを学んできました



無所属

田原（たはら）ともき　51歳

投票日　11月15日（日）

投票時間　午前７時から午後８時まで

この選挙公報は、候補者から提出された原稿を、そのまま印刷したものです。

令和8年11月15日執行

二宮町議会議員選挙 選挙公報

二宮町選挙管理委員会

二宮の未来は住民会議が創る！



一石ひろ子（いちいし）

二宮町議会議員候補

多様な背景や気づきを繋ぐ出逢い＋協働の政策提案・実現のコーディネート

暮らし 信頼、社交、余白

- まちづくり住民協議会
- 新庁舎＋ラディアンのインクルーシブ（町の食堂、リビング）＋グリーンインフラ「雨庭と花の丘憩いの森」協働モデル
- 東大果樹園跡地を子どもの権利条例を体現するすべての住民の自然遊びと福祉的居場所の官民連携施設へ
- 相互関係のケアに重点を置いた母子、家庭、地域福祉の推進

教育 みんなの天才を応援

- 自分らしさを生かせる学びの多様化 学校と学校内作業療法室
- 部活動の地域移行を担うまちづくり会社で国の制度を適用し出逢いを創出
- 子どもの最善の利益に基づくにのみや学園統合の青写真と中学校統合の前倒し
- 学校もつながる生態系活かす循環型 治山治水の広域連携とオーガニック給食

※天才：生まれ持った生きる力

環境 世界課題に向き合う

- にのみや気候市民会議・こども会議提案の体現
- 行政の葛川流域治水会議を広域協働ネットワークへ
- 農ある暮らしと ブルー・グリーンインフラの推進
- 空き家、民地（山林等）の持ち主とのコミュニケーションを進める条例

気候市民会議　こども会議

一石ひろ子の活動はホームページからもご覧いただけます。

一石ひろ子のプロフィール

1959年横浜生まれ。国立音楽大学声楽科卒。イタリアで研鑽。200人以上の生徒の子どもたちと向き合う中、教育、社会科学に傾倒。子育て、PTA、地域活動が縁で、市民運動の議員として2期。3期目は無所属で現職。複数のNPO法人や住民団体立ち上げに関わり、住民自治、循環型里山再生、流域治水啓発や子ども若者の地域社会参加、福祉、母子保健にかかる協働のまちづくりを牽引。国への議員提出議案3回。教員免許取得（祖父は僧侶で長崎県教育主事、島原市教育長。父と弟は一級建築士、長男はソウル市内の大学院で比較政治学を研究中で事案により情報共有。）

わくわく、ドキドキする期待感ある町へ

町政100年に向けて改革を



岡田こうじろう

- **財政確保対策**（500万⇒5億へ）ふるさと納税で町の財政難を救う。
  ふるさと納税 10年後の税収目標を立て財政確保の取り組みを強固に実行する。
- **高齢者移動支援対策（生活基盤の足の確保）**外出したくなる町へ
  通勤・買い物・通院への交通、移動手段の在り方や交通空白地域への小型EV モビリティ配置とその自動運転化含めた、町の交通網整備に取り組む。
- **移住定住促進対策（子育て世代支援）**住み続けたい、住みたい町へ
  スマートシティ化（デジタル化推進）で子育て世代の定着と移住推進に取り組む。
- **青少年、子ども育成地域対策** 青少年の顔がみえる、街づくり
  地域教育力の再構築、学校の再編・機能強化、デジタル活用、若者の地域参画の拡大など地域に根付いた取り組み。



岡田こうじろう2期目の挑戦！！

略歴など

- 福岡県北九州市生まれ
- 福岡市立博多工業高校 卒業
- 日産車体（株）定年退職
- 2000年に二宮町へ転入
- 趣味…和太鼓（創作太鼓）
- 座右の銘…「質実剛健」
- 一色地区会 副地区長
- 二宮町青少年指導員連絡協議会 会長

くらし 教育 みんなとともに 防災 平和

＝子ども・学生、まんなか世代、お年寄り　一人ひとりが大切＝



渡辺日本共産党

くにたか

3期12年、皆さんとともに、小・中学校の給食無償化、子ども医療費助成を高校卒業まで拡大、国保税の資産割廃止など、実現しました。引き続き、くらし・教育・防災・平和を守るよう、力を尽くします。

皆さんの声 実現めざしとりくみます

- 小中学校の体育館に空調整備を
- 少人数学級の実現
- 高すぎる国保税の負担軽減
- ひとり暮らしの方々へ支援充実
- コミバスなど移動支援策拡充
- 特定検診項目の充実
- 葛川の氾濫対策の推進
- 災害関連死ゼロをめざす
- 空き家対策の強化
- 新庁舎は町民要望に沿って整備
- 里山管理と鳥獣害対策の推進
- 地球温暖化対策の推進
- ジェンダー平等の実現



国民の「声」を聞かない高市政権に「ノー」

憲法9条を守ろう！ 消費税は一律5%に

プロフィール　●兵庫県出身、67歳　●町議3期、町議会副議長、教育福祉常任委員長など　●党県央地区委員、支部生活相談室長　●鳥取大学農学部卒。釜野子ども会育成会、町子育連本部、釜野地区などの役員を務め、現在、釜野平成会相談役、二宮野鳥の会役員ほか

ブログ　facebook

変わらないために、変わり続ける

ともに一歩前へ

防災を軸とした持続可能なまちづくり



無所属

古沢ときたか 44歳

二宮町 未来ビジョン

人と人とのつながりを大切にし、安心して暮らし続けられる二宮町を、次の世代につないでいきます

1. 災害に強い、安心安全なまちづくり
2. 安心して産み育てられる環境の充実
3. 誰もが安心して暮らせるまち
4. 地元事業者を支援し、賑わいのあるまち
5. 快適で暮らしやすい住環境の整備
6. 地域活動・文化を通じ、コミュニティを強化

町民のための 花火大会を！

2025年2月と11月、商工会青年部が主催した花火大会の実績を生かし、町・観光協会・商工会・各種団体などによる実行委員会の設立を提案し、町民が楽しめる花火大会の開催を目指します。
子どもから高齢者まで、世代を超えて楽しめる花火で、町に笑顔とにぎわいをつくります。

二宮の宝 吾妻山公園の町有地化へ

吾妻山公園では、現在も土地の賃借料として多額の費用が公費から支出されています。
今後、相続により地権者が増え、土地の管理や整備の調整が複雑になることも懸念されます。
町有地化を進め、町主導での計画的な公園整備や維持管理を行い、将来にわたって守り育てる公園づくりを目指します。

誰もが想いを伝え合えるまちへ
手話言語条例の制定を目指します

手話は、聞こえない人たちにとって大切な「言語」です。関こえる人も聞こえない人も、互いに理解し、尊重し合い、支え合える共生のまちを目指します。

二宮生まれ二宮育ち 44歳！

古沢時隆プロフィール
昭和56年12月29日〇型 44歳
（母・妻・犬1匹）
二宮町山西（梅沢）生まれ
めぐみ幼稚園 卒園
二宮小・中学校 卒業
藤沢翔陵高校 卒業

主な役職・活動
- 二宮町商工会 青年部 部長
- （一社）湘南にのみや観光協会 理事
- 川勾神社神興保存会 本部理事
- 梅澤昭和会 神輿部 相談役
- 有限会社 二宮土地建物
- 古澤ビル株式会社 代表取締役

趣味
- 神輿
- ダーツ
- 野球観戦
- 音楽鑑賞など



小さな声を大切に。

地域に寄り添い、皆さんと共に暮らしを前に！



小林幸子（こばやし さちこ）

公明党公認

政治スタイル　町民の声を聴き、まちの課題は何か、全国の取組みも確認し、二宮町に必要な制度や取組みを議会で取り上げてきました。

高齢者・福祉
（いくつになっても住みやすい二宮を目指します）

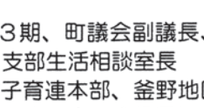


- コミュニティー交通の拡充
- 軽度中度高齢者難聴の補聴器の購入助成
- 町役場の窓口に軟骨伝導イヤホンの導入
- 買い物に困らない町に

教育・子育て
（切れ目のない子育て支援を実現します）
- 不登校対策で多様な学びを創出
- ヤングケアラー対策を更に進めます
- 学童保育の拡充など、パパママが安心して働ける環境を整備
- 誰もが安心して集える「居場所」を増やします

実現しました！
- ★県と連携しアンダーパスにエアー遮断機を設置（県道71号線）
- ★くらし応援商品券の導入
- ★暑さ対策で小中学校に冷風機を導入
- ★産婦健康診査の導入
- ★ピンクシャツDAY（いじめ防止対策）
- ★搾乳マークの設置（子育て中のお母さんを支援）
- ★健康運動指導士の活用で高齢者の健康増進

小林幸子は目指します！



町を元気に
（移住促進や若者が活躍できるまちを実現します）
- 住みたいまち・選ばれるまちへ、移住者支援制度を確立します
- サテライトオフィス整備で若者の起業や新しいチャレンジを応援します
- 空家／空き店舗の利活用を支援する制度を創設します

健康・安心
（健幸にのみやを目指します）
- がん検診の受診率向上に取組み、町民の健康・安心を守ります
- 自然災害に強い二宮を目指します

小林幸子のプロフィール
- ●1961年6月二宮生まれ　●神奈川県立平塚商業卒業
- ●1980年大成建設（株）入社　●公明党西湘総支部副支部長
- ●2022年11月二宮町議会選挙初当選（現1期）

Facebook　X　Instagram

町民主権 主役は、町民のみなさんです！民意を実現する為に！

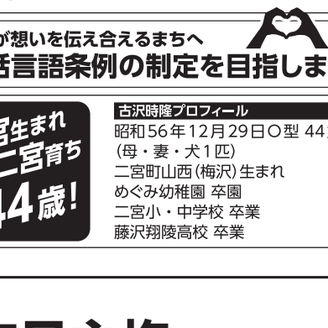


みえだ公一

無所属

二宮町のみなさん、こんにちは！みえだ公一です。選挙で選ばれた町長は、民意を背負い自らの政策を堂々と進めるべきです。一方、町議会議員の役割は自分の政策の実現ではありません。町長の政策を邪魔するのではなく、その考えを見つめ、みなさまの声を寄り添わせながら政策を広げ、深めていくことです。「町民主権」主役は町民のみなさんです！みえだは誰が町長になっても、自分の立ち位置で町長（民意）の政策に沿いながら以下の考えを実現したいと考えております。

みえだのミッション



豊かな暮らしを目指します

目指す豊かな暮らしは経済的な豊かさ（¥）ではなく、繋がって暮らしていく（縁）豊かさだ。

お金のかからない（自給）社会を目指します

教育・医療・介護・食料・エネルギーなどなど、お金で買わないと成り立たない暮らしから抜け出したいぞ。

ワークをライフの内側に！

ライフワークバランスではなく、ワークインライフ。ワークはライフ・・・人生の一部であり、お金を稼ぐだけのものではないぞ。

三枝 公一（みえだ　こういち）
生年月日：1966年12月26日生・59歳
住まい：山西梅沢地区　職場：百合が丘3丁目

過去の活動
- ●めぐみ幼稚園男組会長、二宮小学校・二宮中学校PTA会長
- ●二宮町消防団第一分団（通算10年所属）、梅澤昭和会会長
- ●にのみやLOVERS ～まちの魅力伝え隊～活動参加
- ●二宮町地域福祉計画・地域福祉活動計画策定委員

投票日　11月15日（日）

投票時間　午前7時から午後8時まで

この選挙公報は、候補者から提出された原稿を、そのまま印刷したものです。

令和8年11月15日執行

二宮町議会議員選挙 選挙公報

二宮町選挙管理委員会



小笠原とう子 おがさわら 無所属

365日現場主義 住み続けたい町へ

この町に暮らすよろこび

多くの経験を活かし、誰もが安心して暮らし続けられる町をつくります

自然豊かな住環境と住宅地の価値を守る
①高齢になっても、車がなくても外出できる地域公共交通を町民とともに整備。
②地域包括ケアの充実と、持続可能な仕組み。
③防災・減災こそ、まちづくりの原点。

子どもの育ちと安心を支える
①学校に行かない、行かれない子どもたちの学びと居場所づくり。
②学校体育館への冷暖房空調整備。
③教職員の働き方改革を進めます。

働く世代を支え、次の世代に選ばれる町へ
①通勤バスの確保。（代替え乗り物）
②ひとり親家庭への支援を充実します。



「365日現場主義」をモットーに、これまでも、そしてこれからも活動していきます。あらゆる出会いや経験を活かし、住み続けたい二宮町を、**皆さまとともにつくってまいります。**

Instagram
ブログ「政治は市民のたしなみ」更新中

小笠原とう子 Profile
百合が丘に43年在住
1954年3月10日生まれ A型
箱根町仙石原出身 都立工芸高校卒
ホンダ部品販売 デイサービス勤務
1994年二宮町議会議員に初当選
現在7期目 副議長2回
教育福祉常任委員会委員長を歴任
百合が丘地区社協部会長
みんなの一色こども食堂副代表



福田 ふくだ 文明 ふみあき 無所属

移住者を増やす

①梅沢海岸横の施設や町有地の活用
町立体育館の2階や国立小児病院跡地を海の見えるカフェや作業空間として民間に貸し出します。リモートワーカーや観光客が立ち寄りやすい場をつくり、二宮に定期的に訪れる人を増やします。

②観光情報の可視化
地場産品を使った店や地元の飲食店をわかりやすく案内し、地元への導線を作ります。

③観光インフラの整備
・二宮駅から海への案内看板を設置
・コミュニティサイクルのポート増設
・梅沢海岸の駐車場を有料化し、収益をトイレ、案内・海岸保全の財源へ

定期的に訪れる人が増える → 二宮を好きな人が増える → 移住者が増える

新規就農を増やす

①みかんの里山再生マッチング
耕作放棄地と都市部に住む「農地を持ちたい人」をマッチングする仕組みを作ります。

②新規就農者の販路開拓サポート
東京での直売ノウハウを活かし、新規就農者の販路開拓をサポートします。

害獣を減らす

・耕作放棄地の再生
・わな・フェンス設置のサポート
・ハンターへのサポート
・ジビエの特産品化

プロフィール
Web関連会社経営(13期)
みかん農家(50a)
東京で直売所を運営
東京都大田区池上の商店街出身
現役世代 42歳



たかはし 哲夫 てつお 無所属

広い知見と豊かな経験で二宮の未来を創る

町民の財産と生命を守る
最も大切な町の仕事です
避難所の環境整備と葛川の治水は急務！

人と地域をつなぐ
お年寄りの孤立を無くし、子供たちのコミュニケーション能力を高める

渉外力の強化
国、県、近隣市町との緊密な関係構築を図り、大きな視野で事業を展開する

豊かな自然の整備と活用
海岸整備の完成に合わせ、海浜公園、港の整備をする 落花生、玉葱、オリーブなどのブランド化をサポート

商店街をコミュニケーションの場に
小規模店舗の魅力でコミュニケーションの場を取り戻す。歩いて買い物が出来るようになれば、健康維持にも貢献します

二宮 - 秦野間モノレール建設
流動人口を増やし人口減少を補う
軽便鉄道のレガシーが、この夢物語を後押ししてくれるでしょう

人間力のある人材の育成
しっかりとした世界観と歴史観を持った感性豊かな人材を育成する

誇りを持てる町に
町の有形無形の貴重な遺産（レガシー）を有効に活用し、時代に流されない町を創る

昭和30年二宮生まれ 小田原高校から千葉大学へ ワインの輸入を長く手掛け、広く世界を歩く 元アグリ株式会社CEO 現在は（株）イナリヤト食文化研究所を経営
趣味 釣り、読書、落語・City-pop・映画鑑賞 地域活動 2022~23年 元町南地区長



熊谷 くまがい まさかず 57歳 無所属



- **バスの減便・廃止をストップ！朝夕の生活路線を守ります。**
- **朝夕は路線バス、日中は乗合タクシー！**ハイブリッド型地域交通を導入します。
- **タクシー券の支給対象を拡大！**小田原市「おだチケ」や伊豆の国市を参考にします。
- **介護認定・所得に関係なく！**免許のない高齢者や妊婦にもタクシー券を交付します。

えっ！草取りも犬の散歩も、それに車での買い物や病院への送迎も、介護保険で!?

従来の訪問介護では頼めなかった草取り、犬の散歩、車での買い物や病院への送迎など、暮らしの困りごとを地域のボランティアが手助け！
介護保険「訪問型サービスB」を二宮町でも実現します！

あなたを見捨てない。 プロフィール 57歳／日本福祉大学卒／2005年から二宮町で有機農業に従事
介護現場経験2年／防災士／緑が丘自治会副会長歴任



はまい 直彦 なおひこ 無所属

みんなで一緒に未来を変えよう！
～にのみやの未来へ、確かな一歩。～

風光明媚で温暖な気候の、ちょうど良い田舎…にのみや
豊かな緑と雄大な太平洋に面した街
私の生まれ育った良き街を未来につなげたい…

～はまい直彦プロフィール～

昭和41年(1966)11月29日生 59歳(O型)
二宮町(中町)に生まれる
海の星幼稚園 町立二宮小・中
中学三年間バスケットボール部
県立平塚工業高校(現平塚工科高校)
電子科卒
日本工学院専門学校
家電電子技術科卒
大手家電メーカー修理会社入社
父が創業した家電店を継ぐ
(有)浜井無線商会 代表
～これまでの活動～
二宮町商工会青年部部長
第19回ふれあい広場実行委員長
二宮町消防団第二分団分団長
二宮町商工会理事(現)
二宮町商店連合協同組合理事(現)
中町守宮神会会長(現)

現職、四年の経験で更に町の課題に向き合う。

防災強化！	移動支援！	財政見直し！
災害に強く、安心して住める町へ	誰もが移動しやすいやさしい町へ	将来を見据えた、健全な財政運営

投票日 11月15日（日）

投票時間 午前7時から午後8時まで

この選挙公報は、候補者から提出された原稿を、そのまま印刷したものです。